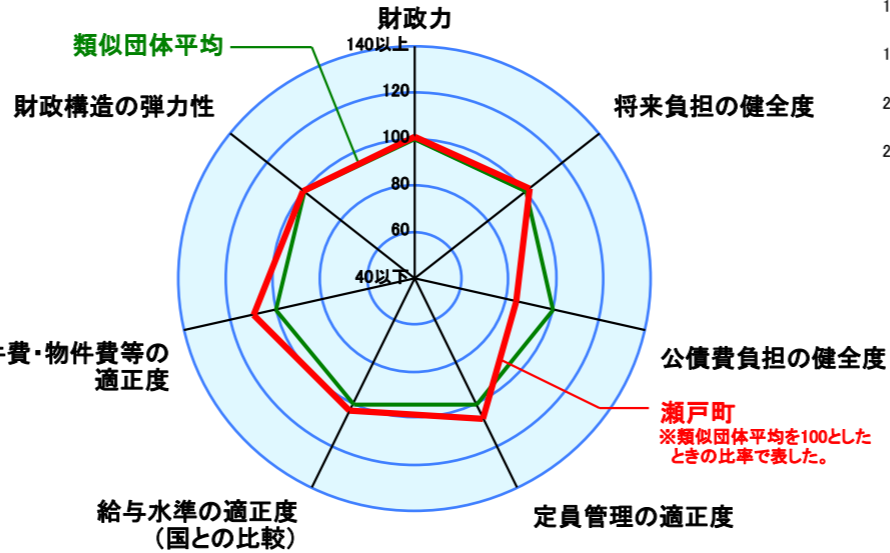
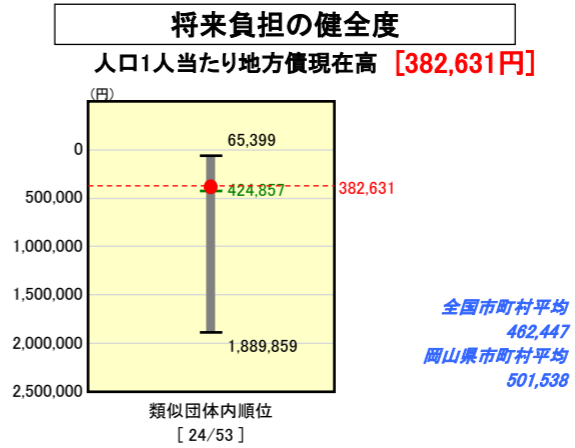
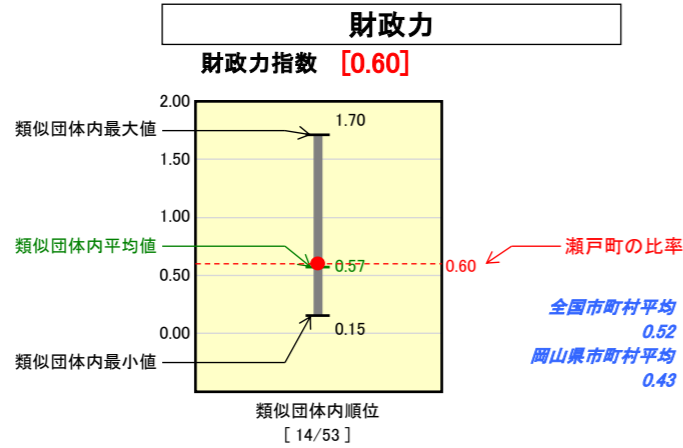


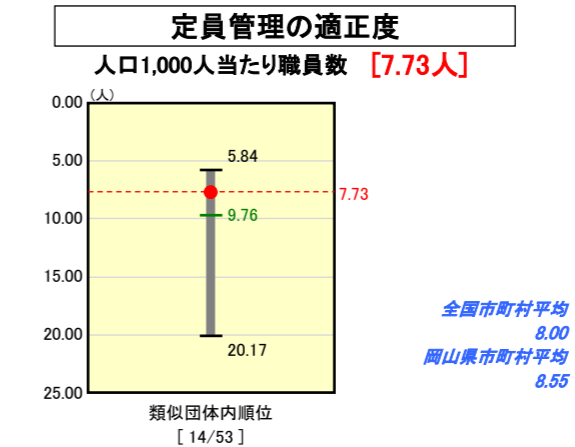
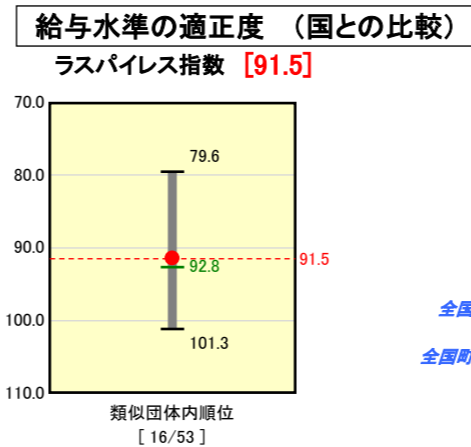
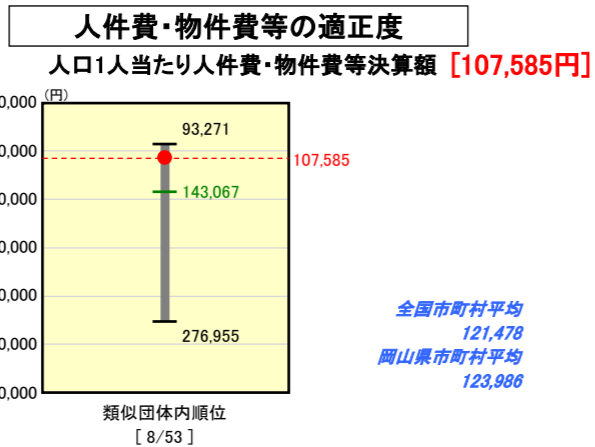
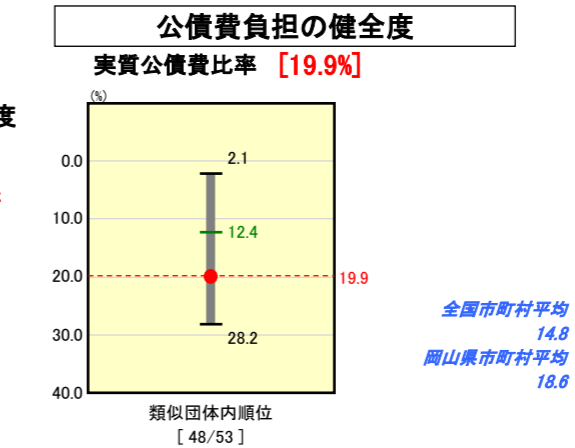
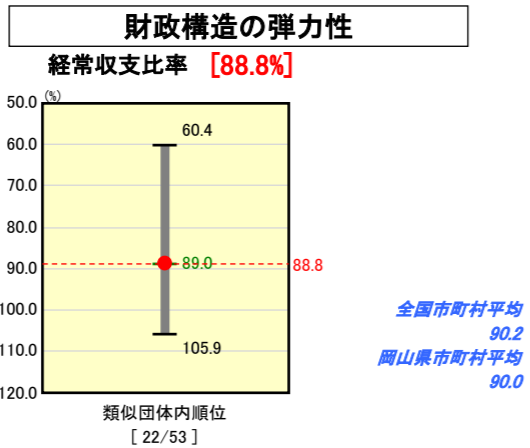
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 瀬戸町

人口	14,883	人(H18.3.31現在)
面積	41.78	km ²
歳入総額	5,415,004	千円
歳出総額	4,966,092	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

※瀬戸町は平成19年1月22日に建部町とともに岡山市と合併

財政力指数: 類似団体平均とほぼ同じ0.60となっている。大規模企業の収益の上昇及び近年に行われた巨額の設備投資に伴う償却資産税の増収によるものである。

経常収支比率: 一般財源の減少により上昇傾向にあるが、類似団体平均とほぼ同じ88.8%となっている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 各種施設の維持修繕を極力抑制しているため、類似団体平均を下回る107,585円となっているが、施設の老朽化の進行に伴い経常経費が増加傾向にある。

ラスパイレス指数: 給与の適正化に努めた結果、類似団体平均とほぼ同じ水準の91.5となっている。

人口1人当たり地方債現在高: 新規の大規模な建設工事を抑制してきたため、類似団体平均をやや下回る382,631円の地方債現在高となっている。

実質公債費比率: 下水道事業への投資を短期間に集中して行ったことにより、類似団体平均を大きく上回る19.9%となっている。

人口1,000人当たりの職員数: 義務的な経費の抑制のため定員管理計画以上の職員の削減を実施してきたことにより、類似団体平均よりも少ない7.73人の職員数となっている。